

『おえかしりとり』
(作:新井洋行 鈴木のりたけ
高島那生 よしながうたく
講談社 2014年)

高島那生の なつやすみ展

高島那生が繰り広げる、奇想天外でナンセンス、それでいてスタイリッシュな絵本の世界は遊び心であふれています。軽やかな筆触や、鮮やかではっきりとした色彩の組み合わせ、大胆な構図と、クスリと笑いを誘うような細部表現。その豊かな発想力に、私たちはいつのまにか引き込まれてしまうのです。初めての本格的な個展となる今回、開催に合わせて、人気作『だるまだ!』(好学社 2015年)の続編の制作と発売が決定しました。本展では、『だるまだ!』および、新作『まねきねこだ!!』(好学社)の原画全点とともに、アトリエでの制作の様子を動画で公開。加えて『チーター大セール』(絵本館 2006年)をはじめとする代表作はもちろん、“絵”のみを担当した作品の変遷にも注目します。新作を含め、インクのみで叙情的に描いた挿絵も展示予定。約200点の原画やラフスケッチを通して、さまざまな魅力に富む、絵本作家・高島那生の本質を探ります。

*『だるまだ!』(長崎出版 2008年)を一部修正して復刊

『まってるまってる』(絵本館 2012年)



『でっこりぼっこり』(絵本館 2009年)



『ぼく・わたし』(絵本館 2003年)



『チーター大セール』(絵本館 2006年)



『カエルの おでかけ』(フレーベル館 2013年)



『せきとりしりとり』
(作:サトシ 文楽堂 2011年)



『おしゃべりどうぶつえん』
(作:あべまこ 絵本館 2008年)



『おまかせツアー』(理論社 2007年)

高島那生

TAKABATAKE Nao

1978年、岐阜県生まれ。東京造形大学美術学科卒。第4回ピンポイント絵本コンペに入選。第25回講談社絵本新人賞佳作受賞。2003年、『ぼく・わたし』(絵本館)で絵本作家デビュー。『カエルの おでかけ』(フレーベル館)で、第19回日本絵本賞受賞。他の代表作に『クリスマスのきせき』(岩崎書店)『バナナじけん』(BL出版)『たとえば、せかいがゴロゴロだったら』(講談社)『みんなにゴリラ』(ポプラ社)などが知られる。絵を担当した作品も多く、『ぞうの金メダル』(作:斎藤洋 偕成社)『あいいうえおんせん』(作:林本 くん出版)『ほんとはスイカ』(作:星田弥子 ブロンズ新社)『たまたまタヌキ』(作:内田麟太郎 佼成出版社)などがある。
<http://www.nao-takabatake.com>



関連イベント〈武蔵野市立吉祥寺美術館 音楽室にて〉

◎詳細、最新情報は美術館HPをご確認ください

高島那生の読み聞かせ&サイン会

① 海の日編 (“まねきねこ”のライブペインティングつき)

7月17日(月・祝) 14:00~16:00

② 山の日編 (“だるま”のライブペインティングつき)

8月11日(金・祝) 14:00~16:00

定員:各60名(申し込み先着順)

申込方法

7月2日(日) 10:00より、
お電話(0422-22-0385)のみで受付開始。

ただし、1回のお電話につき、

①か②のどちらかのみで申込で4名様まで受付可

●イベント当日の美術館入館券が必要です



『だるまだ!』(好学社 2015年)

高島那生のワークショップ “きみのだるまはどんなかお”

高島さん手作りのダンボールだるまに、色をぬります。
オリジナルだるまは持ち帰れます。

③ 7月もおわり編

7月29日(土) 13:00~16:00

④ 8月のなかば編

8月19日(土) 13:00~16:00

定員各10名

●対象:小学1年生~6年生までの方 ※かならず、保護者同伴
●参加費:各1000円

ワークショップ申込方法

③は7月15日(土)、④は8月1日(火)〈必着〉までに、はがき・FAX・メールのいずれかに「①ワークショップ名 ②希望日 ③氏名 ④郵便番号 ⑤住所 ⑥電話番号 ⑦年齢(学年)」を明記の上、武蔵野市立吉祥寺美術館まで。美術館窓口での申込も可。応募者多数の場合は抽選とし、結果は全員に郵送(申込)Tel: 0422-22-0385 Fax: 0422-22-0386 Mail(ワークショップ申込専用) museum-ws@musashino-culture.or.jp



【アクセス】JR線・京王井の頭線 吉祥寺駅北口より徒歩約3分
※美術館専用の駐車場はありません

Kichijoji 武蔵野市立吉祥寺美術館

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-8-16

コビス吉祥寺A館7階 TEL 0422-22-0385

http://www.musashino-culture.or.jp/a_museum/